

国語－6（第2学年） 調べたことに基づいて説明や発表をする事例（話すこと・聞くこと）  
【学習活動の概要】

1 単元名	おすすめ観光コースを提案する～資料を効果的に活用して話す～																
2 単元の目標	聞き手を想定しながら話の要点を明確にし、資料を効果的に活用して分かりやすく話すことができる。																
3 評価規準	<p>【国語への関心・意欲・態度】 自分たちが提案するコースについて聞き手が理解しやすいように、資料を効果的に活用して説明しようとしている。</p> <p>【話す・聞く能力】 集めた材料を整理して、観光コースの魅力を明確にし、聞き手に伝わりやすいよう資料を活用して話している。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 相手や場の状況に応じて、使用する言葉を選び、敬語の働きに注意して話している。</p>																
4 題材	自分たちの住む町の観光についてのプレゼンテーション																
5 主な学習活動	(1)単元の展開（全5時間）																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 604 359 1086"></th> <th data-bbox="359 1086 949 1086">学習活動</th> <th data-bbox="359 1086 949 1534">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="255 1086 359 1232">第1時</td> <td data-bbox="359 1086 949 1232">学習の見通しをもつ。 グループごとに提案するコースのテーマ、紹介する観光スポット（3カ所程度）を決めた上で、材料集めの計画を立てる。</td> <td data-bbox="359 1086 949 1232">○自分たちの住む町を初めて訪れる中学生という相手意識を明確にもたせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1232 359 1332">第2～3時</td> <td data-bbox="359 1232 949 1332">集めた資料を整理して話の構成を考えながら観光コースの「提案資料」（B4判1枚）を作成し、提案の仕方を考える。</td> <td data-bbox="359 1232 949 1332">○観光スポットの情報その他、実際に行った感想などから、コースの魅力を明確にさせる。また、写真や実物などについて、資料に載せるか、説明の中で実物投影機で提示するかという活用の仕方について考えさせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1332 359 1400">第4時</td> <td data-bbox="359 1332 949 1400">順番にプレゼンテーションを行い、他のグループへの質問や意見をカードに記入する。</td> <td data-bbox="359 1332 949 1400"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1400 359 1534">第5時（本時）</td> <td data-bbox="359 1400 949 1534">質問や意見を基にして、提案の内容を修正し、よりよい提案の仕方を考える。 ※プレゼンテーションの内容を録画して、相手の中学校に送る。</td> <td data-bbox="359 1400 949 1534"></td> </tr> </tbody> </table>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第1時	学習の見通しをもつ。 グループごとに提案するコースのテーマ、紹介する観光スポット（3カ所程度）を決めた上で、材料集めの計画を立てる。	○自分たちの住む町を初めて訪れる中学生という相手意識を明確にもたせる。	第2～3時	集めた資料を整理して話の構成を考えながら観光コースの「提案資料」（B4判1枚）を作成し、提案の仕方を考える。	○観光スポットの情報その他、実際に行った感想などから、コースの魅力を明確にさせる。また、写真や実物などについて、資料に載せるか、説明の中で実物投影機で提示するかという活用の仕方について考えさせる。	第4時	順番にプレゼンテーションを行い、他のグループへの質問や意見をカードに記入する。		第5時（本時）	質問や意見を基にして、提案の内容を修正し、よりよい提案の仕方を考える。 ※プレゼンテーションの内容を録画して、相手の中学校に送る。		
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点															
第1時	学習の見通しをもつ。 グループごとに提案するコースのテーマ、紹介する観光スポット（3カ所程度）を決めた上で、材料集めの計画を立てる。	○自分たちの住む町を初めて訪れる中学生という相手意識を明確にもたせる。															
第2～3時	集めた資料を整理して話の構成を考えながら観光コースの「提案資料」（B4判1枚）を作成し、提案の仕方を考える。	○観光スポットの情報その他、実際に行った感想などから、コースの魅力を明確にさせる。また、写真や実物などについて、資料に載せるか、説明の中で実物投影機で提示するかという活用の仕方について考えさせる。															
第4時	順番にプレゼンテーションを行い、他のグループへの質問や意見をカードに記入する。																
第5時（本時）	質問や意見を基にして、提案の内容を修正し、よりよい提案の仕方を考える。 ※プレゼンテーションの内容を録画して、相手の中学校に送る。																
(2)本時の学習（5/5時間）	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="383 1545 1420 1601"> <p>① 前時を振り返り、本時の目標（他のグループからの質問や意見を基に修正することを通して、資料を活用して相手に分かりやすく話す力を付ける。）を確認する。</p> <p>② 提案に対する聞き手からの質問や意見を受け取る。</p> <p>③ グループで話し合い、提案の内容を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点を指摘されたものや質問を受けたものなど、検討する事柄が書かれているものを、評価カードの中から選び出す。</li> <li>・「提案資料」、第4時に行ったプレゼンテーションの録画映像を見ながら、具体的な修正案を考えさせる。</li> </ul> <p>④ グループで話し合った内容を発表し合い、修正案を確認する。</p> <p>⑤ 学習を振り返り、よりよい提案の仕方について考えを深める。</p> </td> </tr> </table>		<p>① 前時を振り返り、本時の目標（他のグループからの質問や意見を基に修正することを通して、資料を活用して相手に分かりやすく話す力を付ける。）を確認する。</p> <p>② 提案に対する聞き手からの質問や意見を受け取る。</p> <p>③ グループで話し合い、提案の内容を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点を指摘されたものや質問を受けたものなど、検討する事柄が書かれているものを、評価カードの中から選び出す。</li> <li>・「提案資料」、第4時に行ったプレゼンテーションの録画映像を見ながら、具体的な修正案を考えさせる。</li> </ul> <p>④ グループで話し合った内容を発表し合い、修正案を確認する。</p> <p>⑤ 学習を振り返り、よりよい提案の仕方について考えを深める。</p>														
<p>① 前時を振り返り、本時の目標（他のグループからの質問や意見を基に修正することを通して、資料を活用して相手に分かりやすく話す力を付ける。）を確認する。</p> <p>② 提案に対する聞き手からの質問や意見を受け取る。</p> <p>③ グループで話し合い、提案の内容を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点を指摘されたものや質問を受けたものなど、検討する事柄が書かれているものを、評価カードの中から選び出す。</li> <li>・「提案資料」、第4時に行ったプレゼンテーションの録画映像を見ながら、具体的な修正案を考えさせる。</li> </ul> <p>④ グループで話し合った内容を発表し合い、修正案を確認する。</p> <p>⑤ 学習を振り返り、よりよい提案の仕方について考えを深める。</p>																	

## 【解説】

### 【指導事例と学習指導要領との関連】

本事例では、中学校学習指導要領・国語の第2学年「話すこと・聞くこと」の指導事項「ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。」を指導する。自分の伝えたい事柄を明確にし、分かりやすく伝えるために、相手や目的・状況に応じて資料を効果的に活用して話すことを指導する。その際、特に、話す相手と目的を意識させ、それに基づいて資料の提示の仕方を考えさせることが重要である。

さらに、関連する内容として、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「(1)イ(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。」を位置付ける。即時的に消えていく話し言葉と読み返すことができる書き言葉という特質を理解して適切に使えるよう指導する。また、相手、目的、場面などに応じて敬語を適切に使えるよう指導する。

### 【言語活動の充実の工夫】

上述の内容を効果的に指導するために、言語活動を設定する。第2学年「話すこと・聞くこと」の言語活動例は、次の2つであり、本事例では、アの言語活動例を具体化した。

ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。

イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。

調べて分かったことや考えたことについて資料を用いて説明する言語活動は、様々な場面で繰り返し行われている。その際に重要なのは、集めた資料を吟味し、相手、目的、場面に応じて資料の提示の仕方とその資料を使って話す内容を考えさせることである。さらに、資料を効果的に活用して話す力を身に付けさせるためには、相手の反応に基づいて自らの話を振り返らせることが求められる。

本単元では、このような能力を育成するために、自分たちの住む町を訪れる中学生に対して、おすすめの観光コースを提案するという言語活動を設定した。グループで提案する観光コースについて「テーマ」、「おすすめポイント」などを示した資料を作成する。また、プレゼンテーションを行う際には、実物投影機を使用し、写真や実物などを映しながら話させる。そうすることで、集めた資料を吟味し、どのように活用するかを考えさせることができる。

学習の最後に、聞き手による評価を基に自分たちの提案の内容を修正するという学習活動を行う。その際に行う工夫は以下の通りである。

- ・ 聞き手の評価は「行きたいと思うか」、「分かりやすいか」という言語活動の目的に即した観点とし、話し方や話す内容といった提案の課題を、修正することを通して見つけていくようにする。
- ・ 修正の内容が抽象的で漠然としたものにならないよう、「提案資料」、「メモ」に付箋を貼ったり、「プレゼンテーションの映像」を繰り返し再生しながら、修正する箇所を具体的に指摘させる。

### ワークシートの一部と生徒の記入例



- ★ グループの提案の課題を解決するための修正の方法を具体的に書く。  
・ 国館の生徒のコメントから、「話し合うべきもの」を選ぶ。重要なものから話し合う。  
・ これまでの資料に戻る。(発表に使った資料・発表メモ・DVD・材料集め計画)

何を？どの部分を？	どのように修正する？
△△周辺のグレイブ屋さんについて	<input type="checkbox"/> グレイブ屋さんの商品の写真、説明などを付け足す。 <input type="checkbox"/> 自分たちが実際にお店に行って、食べているところや商品の写真を撮る。
「おすすめポイント」について	<input type="checkbox"/> 「～には是非来てださい」など、もっとたくさんアピールする。
駅とお店の位置関係について	<input type="checkbox"/> 地図を載せる。 <input type="checkbox"/> 駅から何分かかるかを教える。



※なぜ、その場所を紹介したのかを明確にする。

#### 提案する時に気をつけること

- 相手が何を求めているのかを考える。
- そのことについて全く知らない人でも分かるような発表にする。